

第 8 回府中市自然環境調査員会議

日時 令和 4 年 6 月 1 6 日 (木) 午後 6 時～
場所 市役所北庁舎 3 階 第 3 会議室

出席者 阿久津・上野・後藤・小牧・佐川・多田・田中・内藤・野口・橋本・宮島・
森田・山田委員 計 1 3 名
事務局 白木係長・中澤・池田

議 題

1 自然環境調査について

- ・ 5、6 月の自然環境調査について別添資料のとおり報告。
- ・ (山田委員) 5 月はギンランの群生地を発見した。場所は第七中学校裏のフェンス際。調査地西のギンラン群生地横でカンアオイの仲間を発見した。5 月中には同定できず、タマノカンアオイかどうか不明であった。6 月の調査では新たにカンアオイの仲間、オカトラノオ、ミチバタガラシ、ヤマホタルブクロが観察された。カンアオイの仲間は今後とも同定作業を進めたい。オカトラノオはロープの外にあるのでロープを移動するなどして保護してほしい。アカマツの生育環境について、草があったり落ち葉のあるところは好まない。武蔵台のアカマツはとても貴重である。
→(事務局) オカトラノオの場所はロープを移動しても大丈夫かどうか確認します。
- ・ (山田委員) ギンランの群生地は確認できているか。
→(事務局) 確認でき、ロープで囲っています。

2 夏の自然観察親子イベントについて

日 時 令和 4 年 7 月 3 0 日 (土) 午後 5 時から午後 7 時まで
場 所 都立府中の森公園
実 踏 令和 4 年 7 月 2 2 日 (金) 午後 5 時 3 0 分から
集合場所 都立府中の森公園売店前

- ・ (事務局) 都立府中の森公園には確認をし、コロナの状況等で使用できなくなる可能性はあるかもしれないが、利用の許可はいただいております。
- ・ (内藤委員) 内容については実踏の時に決めるが、本日おおまかでも決めておきましょう。
- ・ (田中委員) 参加者にバッタを捕まえてもらったり、セミの幼虫が見られれば見ってもらう。コウモリも飛んでいけば見られる。
- ・ (内藤委員) ゲーム的な要素もとりいれてみてはいかがか。
- ・ (山田委員) 白い布をみんなで持って、中央に集まっていくとその中にバッタが入ることがある。そのバッタをみんなで観察し、種類を教えてあげると面白い。
- ・ (田中委員) 集合場所の売店からバッタがいる広場まで観察をしながら移動し、山の方に向かって歩き、セミの幼虫が観察できるとよい。
- ・ (事務局) 前回開催した時に、山に向かって歩いている時に子供たちがトンゴをおいかけていたのが楽しそうでもよかった。都立公園の管理団体に確認をしたところ、その場所は今もなるべく草を刈らないでいてくれているとのことで、生き物が住みやすい環境となっている。
- ・ (田中委員) 実踏の時にコースを決めたいと思う。

- ・(田中委員) 集合場所付近の池にカルガモなどがいたら、鳥の説明もできる。
- ・(事務局) 前回、観察中に植物の説明もあったと思いますが。
- ・(内藤委員) その時はクスノキについて説明をした。

3 秋の自然観察ウォーキングについて

日 時 令和4年10月15日(土) 午前9時から12時まで(集合午前8時30分)
 実 踏 令和4年10月7日(金) 午前9時から
 場 所 名木といききの道のコース
 内 容 大國魂神社をスタートして、ウォーキングマップの「名木といききの道」のコースを府中の名木と歴史にふれながらウォーキングする、
 集合場所

- ・(内藤委員) 広報等にのせるキャッチフレーズなどはないか。
- ・(多田委員) 秋の名木をたずねて～いききの道をあらく～
- ・(森田委員) 広報に写真をいれるといいのではないか
- ・(事務局) 広報紙面のスペースが限られており、必ず掲載できるかはわからないが、広報担当課に依頼してみます。

4 武蔵台の保全活動について

- ・(事務局) 資料“令和4年度武蔵台緑地保全活動計画(案)”と“武蔵台緑地植生管理ガイドライン”(貸出のみ)P6~7をご覧いただきながらご説明させていただきます。令和4年度は3回実施したい。(資料令和4年度武蔵台緑地保全活動計画(案)に記載された内容を説明)
- ・(内藤委員) このことについて何か意見などはあるか。
- ・(橋本委員) いつも自然環境調査員会議と武蔵台保全ボランティアで活動をしているが、いつも限られた人数でやっているの、それ以外の方で参加してもらうようにはできないだろうか。
 - (事務局) 個人で武蔵台緑地の手入れをしている人などに声をかけて広めていきたいと考えているが、まだ検討段階です。
- ・(橋本委員) 以前アカマツの作業をした時に、参加してくれた人がいたような気がする。
 - (事務局) その時は自然環境調査員会議と武蔵台保全ボランティアだけで作業をしました。
 - ・(内藤委員) 武蔵台の保全についてよく理解している人でないと作業してもらうのは心配。
 - (事務局) みんなで同じ方向をむいてやっていきたいと考えている。参加したい人にどう声をかけていくか、課題がある。
 - ・(山田委員) 個人でやっている人は、作業をやりっぱなしだったり、後片付けができていないことがあり、一緒にやっていけるかどうか心配。
 - (事務局) 武蔵台保全ボランティアの方々とも情報を共有しながらやっていきたい。
 - ・(事務局) 現在は自然環境調査員会議と武蔵台保全管理ボランティアを中心に活動しているが、事務局としても、他の人を取り込みたいと考えている。活動の都度気軽に参加してもらえるような“ちょいボラ”を募集できないかと検討している。そのボランティアさんには保険などは加入していただくことはできないが、今年度の活動から試験的に行ってみたいと考えている。ボランティアに参加してくれた方には武蔵台緑地植生管理ガイドライン”をお渡しして、この活動の目的、メリットなどについても説明した上で活動に参加してもらいたいと考えている。
- ・(山田委員) 浅間山での保全活動についても一般の方に参加募集をするが、ほとんど参加者は集

まらない。

- ・（佐川委員）自治会の会長さんに声をかけてみてはどうか。最近武蔵台公園内で勝手に植物を伐採している人がいたが、その人はもしかしたら近隣に住む住人かもしれないので、自治会をとおして武蔵台の保全活動について伝えてもらえれば、勝手に植物を伐採したりしなくなるのではないか。
- ・（事務局）保全活動の日程についてはあらためてみなさんにご連絡いたします。活動に関してのご意見などがありましたら、事務局までお願いいたします。

報告

1 自然観察会「多摩川レンリソウ」について

- ・（内藤委員）配布資料の自然観察会の報告書を読んでもらって、なにか意見などはあるか。
今 回多摩川の河川敷を歩くにあたり、とても道がせまく、ポイントでの説明がむずかしかった。
 - ・（森田委員）今回の観察会での反省点が3点ある。①今回実踏を1週間前に行ったが、当日までに確認をしていたところに雑草が増えてしまって、説明したい植物の場所がわからなくなってしまったことがあったので、今後実踏は2～3日前に行く方がよいと思った。②今回、道が狭く、説明する場所がなかったので、参加者を流しながら都度説明をしてみた。当日、自然環境調査員の何人かが列の最後尾について参加者の後ろを歩いていて、参加者に説明する自然環境調査員の人数が限られてしまった。調査員は列の前の方を歩いて説明したいものを探し、数人でそれぞれが説明をした方がよいのではないか。実踏の時に説明者や説明するものを決めておいた方がよいと思った。③レンリソウ群生地での解説がききとりずらく、ツアーのメイン箇所での説明が聞き取りづらいというのはよくないと思った。
 - ・（内藤委員）マイクが使いづらい。
- （事務局）次回はマイクを使いやすいものに変更できるよう検討します。
- ・（山田委員）参加者の歩くペースに個人差があった。
 - ・（佐川委員）実踏の時に説明する箇所を決め、みんな（自然調査員）が説明内容を覚えておくようにして、説明できる自然調査員を増やした方がよいと思う。
 - ・（内藤委員）自然調査員のみんなが説明ができるようになってほしい。
 - ・（山田委員）説明マニュアルを作成してみるのはいかがでしょうか

2 令和4年度環境まつりについて

- ・（事務局）6月6日から6月30日まで環境まつりをオンラインで開催しています。自然環境調査員会議の紹介もしていますので、まだ視聴なさっていない方はぜひご覧ください。

以上

次回の会議予定 日 時 令和4年9月15日（木） 午後6時～
場 所 未定